

《テーマ》 **薬害はなぜ なくならないか**
—裁判の非科学性を問う—

この秋、大阪にて下記の要領で、医薬ビジランス・シンポジウムを開催いたします。

タミフル、「分子標的薬」のイレッサ、HPVワクチンなど、21世紀になって開発や承認がなされた新たな作用の薬剤による被害が続いています。これら「21世紀型薬害」では、医学的・科学的に因果関係が証明できても、国やメーカーはそれを頑として認めず、裁判所は被告（国やメーカー）の意見のみを取り上げ、自らは何も判断しようとしません。このような状況下、他にも薬害を引き起こしかねない薬剤は多数存在します。

シンポジウムでは、医学的・科学的根拠と、判決の根拠とのギャップについて、徹底的に討論します。ぜひ、ふるってご参加ください。（簡単なプログラムと会場への地図は裏面）

日 時：2016年10月16日（日）11時45分～17時40分（予定）

会 場：此花会館（大阪市此花区、JR大阪環状線「西九条」駅下車）

参加資格：不問、どなたでも（ただし先着順。定員180人）

参加費：2000円（資料代含む）、当日お支払ください。

主 催：特定非営利活動法人 医薬ビジランスセンター

後 援：宝診療所（群馬県太田市）

〒543-8791 大阪市天王寺郵便局私書箱4号 **FAX：06-6771-6347**

★参加ご希望の方は、なるべく事前申込みを。下記にご記入のうえ、FAXで当センター宛てお送りください。

当センターのHP <http://npojip.org> からネットでの申し込みもできます。

当日参加も可能ですが座席が確保できない場合がありますので、ご承知おきください。

ふりがな 氏 名：	薬のチェック TIP 誌の読者ですか？ はい（会員番号 ） いいえ
住 所（いずれかに○をつけてください。 自宅 ・ 勤務先） 〒	
職 種	確実な連絡先 Tel：
勤務先または所属団体など（あれば）	Fax： E-mail：